

「鹿沼組子耐力壁」の製作 記念事業報告

建築研究部

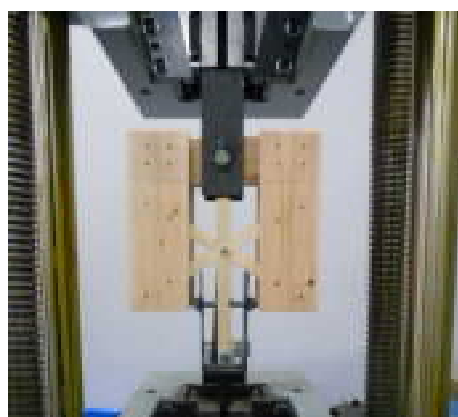
目的

鹿沼組子は、江戸時代初期日光東照宮創建時に、全国から優れた宮大工が集まり、その高い技術力が栃木県を代表とする伝統工芸の一つである鹿沼組子となった。

鹿沼組子は、緻密で繊細なデザイン性を持つことが大きな特徴であり、これらの特性を活かし、さらに耐震性はもとより、採光性や通気性を兼ね備えたより付加価値の高い魅力ある耐力壁に加工できないかと考えた。



開発計画・スケジュールなど



平成27年度の実施内容

模型による実験を繰り返し、鹿沼組子が耐力壁として可能なのか検証した。木造住宅の壁として、耐震性において、十分な性能を引き出せる可能性を確信した。

平成28年度から令和3年度の実施内容

栃木県林業試験センター様の協力を得て、縦2700mm×横805mmの試験体を製作し、本格的に耐力壁の実験を開始した。実験結果から、「鹿沼組子耐力壁」の強度が実証され、さらに向上を目指し、研究・開発に取り組んだ。

令和4年度の実施内容

栃木県林業センター様での耐力壁試験を繰り返して精度を上げ、令和4年度3月には（一財）建材試験センターにおいて品性能試験を実施し、性能が立証された。

これまでの成果

受賞

- H29 日本工業経済新聞社長賞
- H30 栃木県高等学校文化連盟賞
- H31 第五回 創造・無限大∞
高校生ビジネスグランプリ審査員特別賞
- R3 「地域発！いいもの」認定証 厚生労働省

実績

- ・下野市 A邸 鹿沼組子耐力壁設置
- ・小山市 B邸 鹿沼組子耐力壁設置
- ・県立鹿沼高校木屏設置
- ・鹿沼相互信用金庫 新築工事今市支店 本年度着工

